

中 耳炎とは、ばい菌によって耳の奥に炎症があこり、耳だれなどの症状がでるもので。鼻水がきっかけで起こりやすいことから、特に小さなあいさんは、風邪が原因となるケースが少なくありません。

さらに、痛みがない時もあり、発見が遅れて重症に陥ってしまうこともありますから、普段から要注意です。それでは、さっそく中耳炎の発症の仕組みからご紹介しましょう。

中耳炎 発症の仕組み ばい菌はどこから?

炎症は、鼓膜の奥の中耳腔に入り込んだばい菌があこします。では、そのばい菌は、どこから入って来るのでしょうか?

お風呂やプールの水が耳に入るのが原因と思いがちですが、炎症は鼓膜の奥ですから、鼓膜が破れていない限り、外からは水はありません。

じつは、ばい菌は鼻から耳管を通してくるのです。その仕組みは次のとあります。



みやはら耳鼻咽喉科プロデュース
耳・鼻・ノドのヘルスケア

教えて! 宮原先生

今月のテーマ
中耳炎に注意しよう

Vol.2
July 2011

ある日突然あこる耳の
痛み…。敏感な部分
だけに、とっても
辛いですね。
第2回目のテーマ
は「中耳炎」です。
なぜあこるのか、
どうしたら防げるか
お話ししましょう。



次ページで、中耳炎が発症する仕組みをご紹介します。

③滲出性中耳炎

中耳腔に体液（水）がたまります。急性中耳炎が治りきる前に治療を止めてしまったり、鼻水が出続けているとおこります。

●症状●

- ・熱や耳の痛みはない。
- ・難聴（耳に水が入ったような感じになる）。

●治療方法●

鼻水が出ないように鼻の治療を行います。場合によっては鼓膜切開をして水を抜きます。



◆注意点

片側だけ難聴や、軽い場合もあり、子どもは気づくのが遅れることがあります。声をかけても振り向かない、といったことがないか注意しましょう。

⑤真珠腫性中耳炎

先天性の場合もありますが、癒着性中耳炎や慢性中耳炎の悪化により、耳の奥に真珠のような塊ができます。

●症状●

めまいや難聴、顔面神経の麻痺など。

●治療方法●

手術による治療を行います。

◆注意点

最悪の場合、命にかかわる場合もあります。

②慢性中耳炎

耳だれが続いたり、鼓膜に穴が開いたままになります。急性中耳炎を繰り返すことで進行します。

●症状●

- ・難聴。
- ・痛みはない。
- ・耳だれを繰り返していると難聴が進行し、普段の生活にも支障をきたすようになる。

●治療方法●

耳の中をきれいにして、乾いた状態にします。耳だれが止まらないときは、難聴の進行を防ぐために手術を行います。

◆注意点

放置すると、治療の難しい難聴をあこします。

④癒着性中耳炎

滲出性中耳炎が進行し、鼓膜がへこんで耳の奥の骨にくっつきます。

●症状●

- ・耳だれや痛みはない。
- ・鼓膜と骨がくっつく。

●治療方法●

手術による治療を行います。

◆注意点

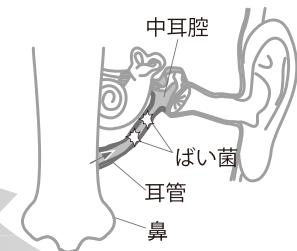
鼓膜と骨との癒着の程度により、完治が難しくなります。また、悪化すると、より深刻な中耳炎に進行することがあります。

中耳炎はこうしておこります

④耳に痛みができます。



③ばい菌が、中耳腔で炎症をおこします。



②鼻水に含まれるばい菌が、耳管と一緒に中耳腔に入ります。

大人のようなくらい、耳管を太くて短いために、鼻水の中のばい菌が、耳管と一緒に中耳腔に行きやすくなります。大人に比べて耳管を引いたり鼻水を出している時は、中耳炎にも要注意して下さい。

●大人のようなくらい、耳管を太くて短いために、鼻水の中のばい菌が、耳管と一緒に中耳腔に行きやすい。

①風邪などで鼻が詰まり、鼻の奥に鼻水が溜まります。

特に3歳くらいまでの子どもは中耳炎になりやすいのです。その理由をご紹介しましょう。

①急性中耳炎 中耳腔に炎症がおきています。

●症状●

- ・耳の強い痛み。
- ・38度くらいの熱が出ることが多い。
- ・赤ちゃんは機嫌が悪くなったりする。
- ・鼓膜が破れて膿みが出てくる（耳だれ）。

●治療方法●

抗生剤の服用でばい菌を殺しながら、鼻水を止める処置をします。膿がたまつていれば鼓膜を切開して出します。鼓膜の穴は、耳だれや鼻水が止まれば、数日で閉じるので、心配ありません。

◆大事な注意点！◆

熱や痛みは1~2日で改善するため、治療を中断してしまう方がいますが、より重症の中耳炎に進行することがあります。完治するまでは耳鼻科の受診を続けましょう。



こうして引きあこされる中耳炎のタイプは主に5つです。まずは、お子さんがなりやすい急性中耳炎からお話ししましょう。



◆◆◆ 中耳炎を早く治すために ◆◆◆

鼻水が原因でおこりやすい中耳炎ですが、逆に、鼻水が止まれば、鼻水の中にいるばい菌が耳管をとあって悪さをしないので、中耳炎の治りも早くなります。

そこで、鼻の病気を抱えている方は、中耳炎を

慢性化させないためにも、耳と一緒に、鼻の治療を行う事も忘れないでください。



中耳炎の治療で
重要なことは、
早期発見・早期治療
です。ぜひ、
心がけて下さいね。

中耳炎ぐらうじ…
と軽く考えていると、
慢性化して、治療期間が
長引いてしまいます。
痛みや、聞こえにくいで
の耳鼻科の受診を
お勧めします。



次回は、
「夏風邪に間違われ
やすい耳鼻科の病気」
についてのお話です。



Miyahara ENT Clinic 医療法人 南輝 *

みやはら耳鼻咽喉科

〒702-8023 岡山市南区南輝3-3-28

Tel.086-237-4133

南輝小学校・西100mを左折 P20台

『ご納得いただける診療・丁寧な診療・お待たせしない診療』を実践する、地域に根ざした耳鼻咽喉科医院です。

受付時間	月	火	水	木	金	土
9:00~12:15	●	●	●	●	●	●
15:00~18:15	●	●	●	-	●	-



●初めての方も順番予約できます●

休診日 日曜・祝日
木曜と土曜の午後

詳しくは…
みやはら耳鼻科で検索!

このように、
中耳炎には様々な
タイプがあり、
子どもには身近な
病気といえます。
そこで、日頃のケアが
大切です。

夏の間は、
特にプールでの
対応が気になると
思いますので、
小さなお子さんへの
注意点を、下記の項目で
一度チェックして
みましょう。

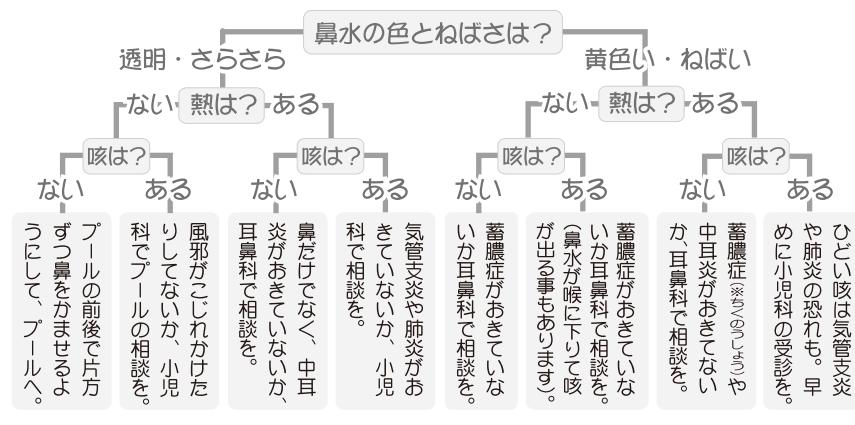
Check! お子さんの様子に注意しましょう

お子さんに下の症状が見られたら、一度、耳鼻科での受診をお勧めします。

- 夜、突然泣き出して眠らない。 耳に手をやる。
 - 鼻水が多くて機嫌が悪い。 耳だれが出ている。
 - 小児科で風邪といわれ、薬を飲んだが熱が下がらない。
- *中耳炎の症状には、熱・機嫌が悪い・食欲がないなどの、風邪と似た症状があこる場合があります。

Check! プールに入っても大丈夫?

子どもに鼻水が出ている時は、入らせてよいかどうかの判断で迷われるお母さんがいますが、体調や鼻水の色で、ある程度判断出来ます。ただし、下記の表は目安ですので、かかりつけ医があれば、まずはそこで相談して下さい。



* 鼻の奥の空間（鼻腔／びくう）に膿みがたまつた状態